

瑞穂町子ども読書活動推進計画新旧対照表（関係団体アンケート）

第二次計画	第三次計画																														
<p>●「図書館で、団体貸出しを利用したことはありますか。」という問いに対する回答状況は、次の通りです。</p> <table border="1"> <tr> <td>はい</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>11</td> </tr> </table> <p>※「いいえ」と回答しているのは、学校・幼稚園・保育園を除けば、1件のみ。</p> <p>幼稚園・保育園の10団体中、8団体が「いいえ」と回答しています。</p> <p>無料頒布は、ほとんどの幼稚園・保育園で活用しています。幼稚園・保育園に対するリサイクル図書の活用に対する回答を見ても、この本を有効に活用していただいている状況が分かります。</p> <p>一般の無料頒布の前に、各幼稚園・保育園に事前頒布を実施しており、除籍になった本が再活用され、良い循環ができています。</p> <p>●「瑞穂町子ども読書活動推進計画があることを知っていましたか。」という問いに対する回答状況は、次の通りです。</p> <table border="1"> <tr> <td>はい</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>ほとんどの団体で計画のことは知っていたようですが、「いいえ」と回答している団体も5つありました。</p> <p>●各機関の成果</p> <p>第一次計画に沿って、各機関の成果を見ていきます。</p> <p>達成度合の評価は、下記の表により記号でつけています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th colspan="2">達成度合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>大変よくできた</td> <td>100～80%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>よくできた</td> <td>79～60%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>ふつう</td> <td>59～40%</td> </tr> </tbody> </table>	はい	12	いいえ	11	はい	18	いいえ	5	記号	達成度合		A	大変よくできた	100～80%	B	よくできた	79～60%	C	ふつう	59～40%	<p>第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画策定に伴う現況調査</p> <p>調査期間 令和元年5月17日（金）～令和元年5月31日（金）</p> <p>対象 小学校(5校)、中学校(2校)、幼稚園・保育園(10園)、あすなろ児童館、保健センター、子ども家庭支援センターひばり、ボランティアセンターみずほ、子育てサークル(2団体) 合計23団体</p> <p>達成度合の評価は、下記の表により記号でつけています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくできた</td> <td>できた</td> <td>ふつう</td> <td>あまりできなかつた</td> <td>できなかった</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	E	よくできた	できた	ふつう	あまりできなかつた	できなかった
はい	12																														
いいえ	11																														
はい	18																														
いいえ	5																														
記号	達成度合																														
A	大変よくできた	100～80%																													
B	よくできた	79～60%																													
C	ふつう	59～40%																													
A	B	C	D	E																											
よくできた	できた	ふつう	あまりできなかつた	できなかった																											

D	できなかった	39～20%
E	全然できなかった	19～0%

1 地域(ボランティアセンターみずほ)

① 地域の育児サークルなどが行っている「読み聞かせ」などの活動への参加を促進します。

評価 C

ボランティアで読み聞かせを行っている子育て支援のグループがあります。これらのグループについては、活動のフォローアップを行い、読み聞かせ活動希望者へは活動内容を説明し、見学などをしていただき、活動への参加促進を図っています。

② 育児サークルやその活動内容の情報を提供します。

評価 C

読み聞かせ活動を行っているグループのチラシについては、子育て支援に関わる施設等に置かせていただき、多くの方に参加して頂けるように情報を提供しています。

上記以外に行っている取組み

ボランティア数名が、町内の小学校に出向き、朝礼の時間や読書の時間などに、児童に読み聞かせ活動を行っています。

2 学校(7校)

① 児童・生徒の成長・発達と興味に応じた蔵書の充実を図ります。

評価 A=3 B=3 C=1

学校図書館に来る児童に、購入希望のアンケートを取り、購入リストを作成しています。

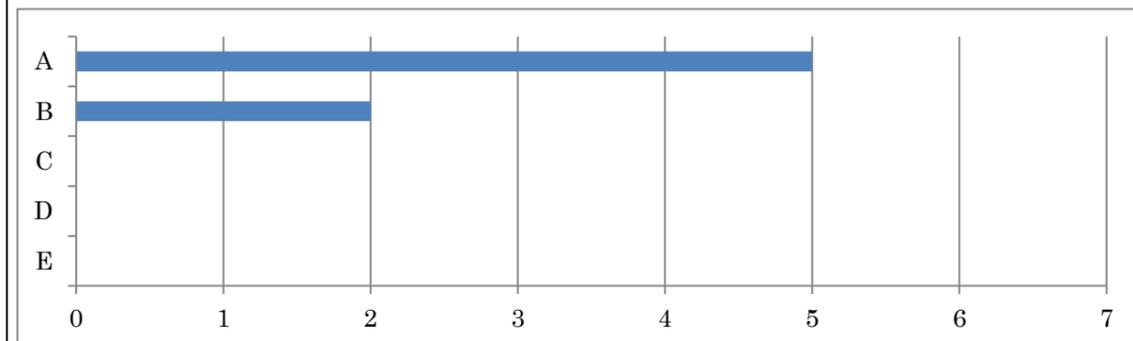
図書事務員を中心としたおすすめ本のPRや展示をしています。

図書担当教員を中心に購入リストを作成し、それを職員に伝え、その年の教育活動に活用しています。

1 学校(7校)

① 児童・生徒の成長・発達と興味に応じた蔵書の充実を図ります。

評価 A=5 B=2



学校図書館に「本のリクエストボックス」を設置し、児童が興味を持つ本の選定・購入を進めています。

選書の工夫

② 司書教諭と学校図書館司書を中心に、各担任と連携を図り、学校の特性を生かした活動を推進していきます。

評価 A=4 B=2 C=1

情報の交流をしながら進めています(週2~3回)。

季節に応じた図書館掲示や本の展示

季節や行事に合わせ、司書(臨時職員)が図書室だよりを発行したり、学習に合わせ展示本をとりかえるなどしている。

司書教諭を中心に、図書担当教諭、学校図書館事務職員と連携しながら小規模校の特性を生かして、児童ひとりひとりの読書活動を促進している。

各種計画・運営委員会

③ 児童・生徒への推薦図書リストの配布や、教師や子どもによるおすすめ本を紹介する機会を作り、読書の楽しさを啓発します。

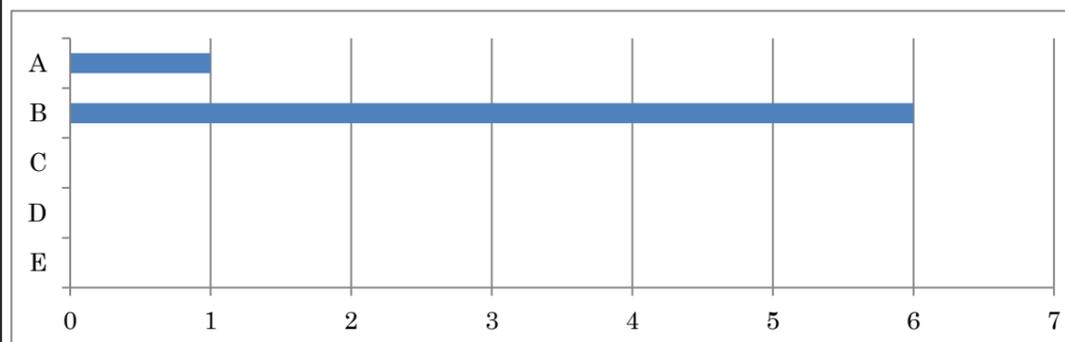
評価 A=5 B=2

具体的な取組内容

- ・選書の際にはカタログや書評などのほか、書店での人気も一つの目安としています。
- ・ライトノベルは目を通し、学齢にふさわしい内容かどうかを確認しています。
- ・児童からのリクエストは内容を考慮し、選書に加えています。
- ・学校図書館司書と司書教諭を中心に、担任と連携して蔵書の充実を図っています。
- ・授業に役立つ資料を揃えられるよう、教員から聞き取りをしています。
- ・児童とのコミュニケーションの中で人気の本や読みたい本をリサーチしています。
- ・授業や行事に関連する資料は積極的に購入するようにしています。

② 司書教諭と学校図書館司書を中心に、各担任と連携を図り、学校の特性を生かした活動を推進していきます。

評価 A=1 B=6



具体的な取組内容

- ・調べ学習、みずほ学などの資料について、担任と連携して選書しています。
- ・調べ学習をする際のポイントなどの資料を夏休み前に配布しています。
- ・学校の特色に応じた読書活動を行っています。
- ・図書室利用や貸出冊数が上がるよう、読書週間を中心としたイベントを設けています。
- ・読書旬間、授業での読書活動などを通して、家庭で読書する環境を整えています。
- ・季節、行事に応じた掲示や本の展示をしています。

③ 児童・生徒への推薦図書リストの配布や、教師や子どもによるおすすめ本を紹介する機会を作り、読書の楽しさを啓発します。

評価 A=6 B=1

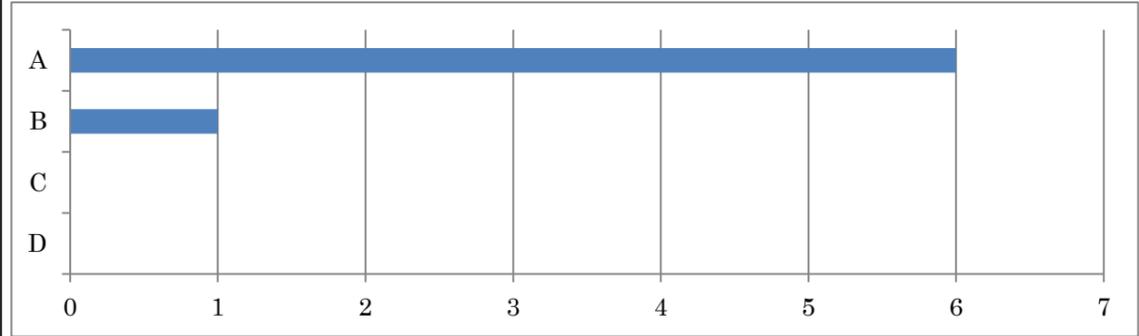
司書による学校図書館の環境整備(おすすめ本コーナー、図書室だより等)。 小学校教育研究会(教職員による研究・学習団体)による推薦図書リストの配布。
プリントを作成して、配布しています。
児童同士による読み聞かせ 読書カードや読書郵便の取り組み
図書委員会の児童がおすすめ本の紹介をしてくれています。
「図書室だより」で推薦図書を紹介したり、図書室に「おすすめ本コーナー」 を設けたりしている。また、児童が作成した「本の紹介カード」やポップを展示 し、読書の楽しさを啓発しています。
図書委員会を中心に「図書だより」「おすすめ本ポスター」を作成し、配布、 および掲示をしています。
推薦図書リスト、たより(生徒・学校図書館)、読書紹介、読書週間の企画

④保護者・ボランティア・図書館の協力を得て、「読み聞かせ」等を行います。

評価 A=3 B=3 E=1

保護者とボランティアによる朝の読み聞かせ
ボランティア、保護者に呼びかけ、日程を組み実施しています。
図書事務員、学習サポーター等を中心とした読み聞かせ
年3回(学期1回)の読書週間のとき、保護者が朝学習時に読み聞かせをしてくれて います。
保護者やボランティア、学校図書館職員による読み聞かせを行っています。
・司書による読み聞かせ ・読み聞かせの練習会

⑤ 障がいのある児童・生徒の障がいの特性、生活経験等を考慮した適切な図書を選定するととも

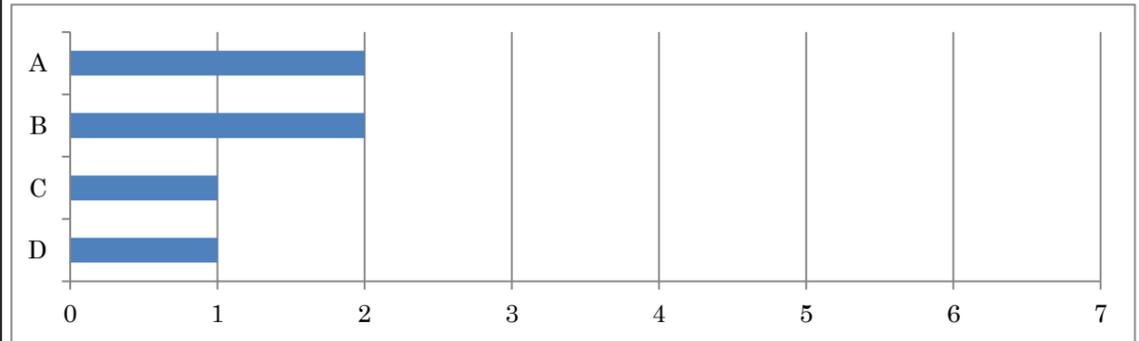


具体的な取組内容

- ・「図書だより」「委員会だより」や図書室内で本の紹介をしています。
- ・学年ごとにすいせん図書リストを作成し、配布しています。
- ・担任による読み聞かせや、上級生から下級生への読み聞かせを実施しています。

④保護者・ボランティア・図書館の協力を得て、「読み聞かせ」等を行います。

評価 A=2 B=2 C=1 D=1 E=1



具体的な取組内容

- ・曜日を決め、保護者と図書館司書により読み聞かせを実施しています。
- ・毎年図書ボランティアを募集し、読み聞かせや図書の整理等を行っています。
- ・地域の読み聞かせボランティアや学習サポーターによる読み聞かせを実施しました。
- ・学校図書館司書や図書委員による読み聞かせ、ブックトークを実施しました。

⑤ 障がいのある児童・生徒の障がいの特性、生活経験等を考慮した適切な図書を選定するととも

に、ボランティアや教諭による「読み聞かせ」など工夫した読書活動を充実します。

評価 A=1 B=3 C=3

読書月間の期間に先生方による読み聞かせを実施しています。 担任外のクラスで行うようにしました。 例 6年1組の担任→1年1組の読み聞かせ
図書の日や休み時間に、配慮を要する児童には、個別に教諭や学習サポーターが読み聞かせを行っています。
授業における図書室利用、ボランティアによる読み聞かせを定期的に行っています。
選書の工夫

⑥ 読書計画を教育課程に位置づけ、意図的・計画的に読書の時間を設け、子どもが読書の楽しさや良さを味わえるような指導の工夫や取組みを充実させ、読書の領域を広げていきます。

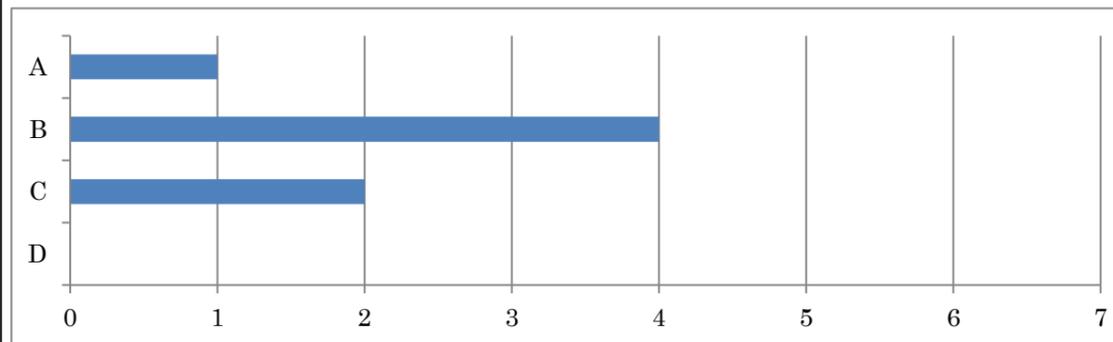
評価 A=3 B=2 C=2

読破できた本1冊につき、しおり1枚をプレゼントしています。 チャレンジコース… 5冊 →ラミネートのしおり 300ページ
教科と図書活用の連携を図るための表を作成しています。 ・年間3回(学期1回)の読書週間の設定。 ・「図書室のしおり」を作成し、新年度、全児童に配布しています。 ・読書郵便(おすすめ本を校内郵便を使い友達に伝える。)
週1回の図書の日時間に、読み聞かせ、ブックトーク(あるテーマのもとに本を紹介すること)、アニメーション(事前に本を読み、その内容に関してゲームをすること)などを行っています。
読書計画

⑦ 子どもたちに読書習慣を身に付けさせるため、全校一斉の読書活動(朝読書・読書週間・読書月

に、ボランティアや教諭による「読み聞かせ」など工夫した読書活動を充実します。

評価 A=1 B=4 C=2

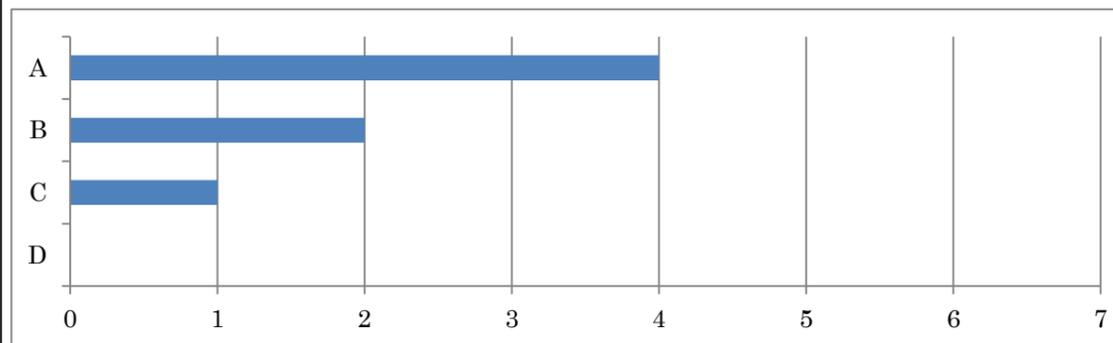


具体的な取組内容

- ・大型絵本やエプロンシアターなどを使い、読み聞かせを行っています。
- ・「わいわい文庫 マルチメディアデイジー図書」寄贈を受け、活用しています。
- ・個々の児童に合わせた読書活動を行っています。

⑥ 読書計画を教育課程に位置づけ、意図的・計画的に読書の時間を設け、子どもが読書の楽しさや良さを味わえるような指導の工夫や取組みを充実させ、読書の領域を広げていきます。

評価 A=4 B=2 C=1



具体的な取組内容

- ・学習内容と関連したブックトークや読み聞かせを実施しています。
- ・貸出目標冊数を掲げ、活発な読書活動を行っています。
- ・ビブリオバトルや読み聞かせ、プチブックトークを実施しています。
- ・年間指導計画に基づき、読書週間や図書室の利用方法などを教育課程に位置付けています。
- ・年度当初に全学年へのオリエンテーションを行っています。

⑦ 子どもたちに読書習慣を身に付けさせるため、全校一斉の読書活動(朝読書・読書週間・読書月

間等)を設定するなど、読書時間を確保します。

評価 A=6 B=1

<ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜の朝学習は全校読書の時間として設定。 ・年3回(2週間ずつ)の読書週間の設定。
1・2学期に1回ずつ、3週間ずつ設定しています。
読書集会を、平成25年11月28日(木)に行ないました。
朝読書の設定と読書週間を設定
<ul style="list-style-type: none"> ・年3回(学期1回)の読書週間のとき、保護者が朝学習時に読み聞かせをしてくれています。 ・年間3回(学期1回)の読書週間の設定。 ・「図書室のしおり」を作成し、新年度、全児童に配布。 ・読書郵便(おすすめ本を校内郵便を使い友達に伝える。)
初夏の読書週間・秋の読書週間、毎週金曜日の朝読書を設定しています。
毎朝10分間朝読書を実施しています。
全学年一斉の朝読書、読書週間。

⑧学校においては、各教科・特別活動・総合的な学習の時間などにおいて、学校図書室を積極的・計画的に利用し、子どもの主体的・意欲的な読書活動や学習活動を充実します。また、読み聞かせ等のボランティア派遣を積極的にすすめます。

評価 A=3 B=3 C=1

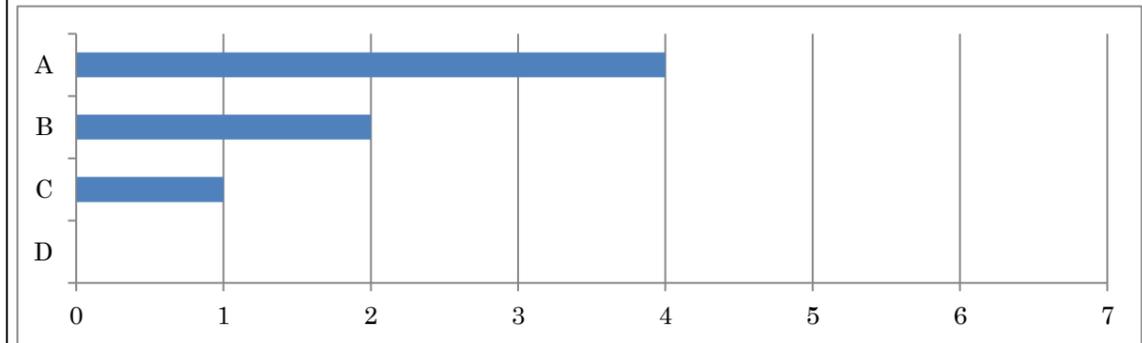
総合や社会など、テーマにそった本を司書に用意してもらい学習で活用しています。
図書室クイズ(2年生)…図書室のしくみを調べクイズにしています。
教科、行事で関連づけて、各学年で必ず実施しています。
学習内容に応じた図書を準備し、調べ学習で図書室を積極的に利用しています。
国語・美術の授業

上記以外に行っている取組み

図書委員による、放送での読み聞かせを、給食時(後半)から、10分間行ないまし
--

間等)を設定するなど、読書時間を確保します。

評価 A=4 B=2 C=1

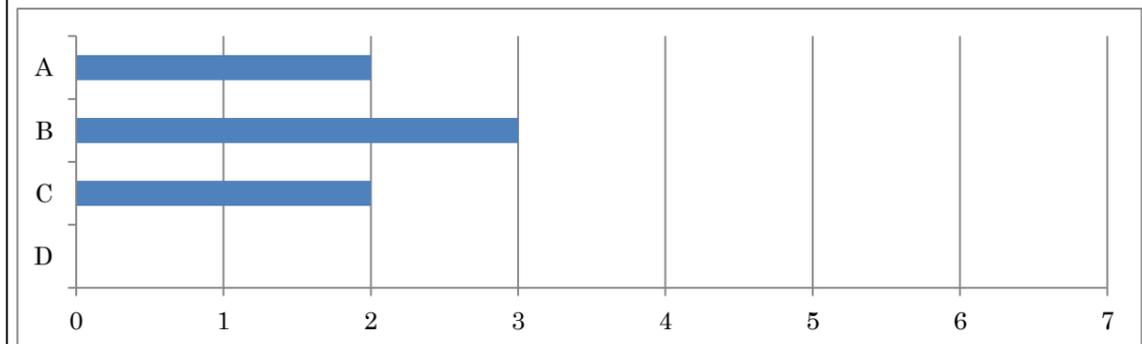


具体的な取組内容

- ・読書旬間・読書週間を設定しています。
- ・朝読書の時間を設けています。
- ・読書貯金カード、読書記録カードを配布しています。
- ・読んだページ数や冊数で競争しています。
- ・読書郵便を実施しています。

⑧学校においては、各教科・特別活動・総合的な学習の時間などにおいて、学校図書室を積極的・計画的に利用し、子どもの主体的・意欲的な読書活動や学習活動を充実します。また、読み聞かせ等のボランティア派遣を積極的にすすめます。

評価 A=2 B=3 C=2



上記以外に行っている取組み

- ・大型本や重い本などの少し変わった本の紹介コーナーを作ったり、ブックトークで紹介しています。

た。前・後期で2回、児童1人当たり1回ずつを基本として。
学習内容に合わせて教室や廊下に図書交流を図る取り組みを実施しました。
校内研究で読書活動をその方策として取り上げ、来年度より、さらに活動の内容を充実させ、取り組んでいく予定です。
<ul style="list-style-type: none"> ・「読書の木」（読んだ日、本の題名、作者名、ページ数を記録し、集計できるもの）を全校児童に配布し、100冊の本の読了めざして挑戦しています。100冊達成できた児童の氏名は図書室に掲示しています。記録をもとに児童への励ましをしています。 ・教諭による読み聞かせだけでなく、上級生から下級生への読み聞かせ(たてわり班)をしています。
蔵書の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業で、読書だけではなく、「書く力」のため、本を利用しています。 ・全学年、学校図書館オリエンテーションを開いています。

3 図書館

① 子ども個人の興味や関心・発達段階に合わせた選書を行い、蔵書の充実を図ります。

評価 B

子どもの興味関心に合わせて選書を行っています。

② 本館及び地域図書室における「おはなしの会」の内容を充実させ、手法の研究をし、ボランティアの協力を得ながら、より多くの方に参加してもらえるような事業を目指します。

評価 C

5会場で月1回以上実施し、ボランティアの協力を得ている。幼児期から本とふれあい、読書に関する意識の高揚、習慣付けを促進しました。

本館以外の参加者は微増しています。クリスマス会では、ゆりーと(東京国体のキャラクター)を活用して、子ども達に喜んでもらうことができました。

- ・図書館を使った調べる学習コンクールに向けて、学年で取り組んでいます。
- ・一般企業の読み聞かせに関連するイベントの誘致を行いました。
- ・もう1冊かりられる券を発行しています。
- ・図書委員が主体性を持って企画運営を行っています。

2 図書館

① 子ども個人の興味や関心・発達段階に合わせた選書を行い、蔵書の充実を図ります。

評価 B

子どもの興味関心に合わせて選書を行いました。人気がある本は地域図書室にも副本を揃えました。

② **図書館**及び地域図書室における「おはなしの会」の内容を充実させ、手法の研究をし、ボランティアの協力を得ながら、より多くの方に参加してもらえるような事業を目指します。

評価 B

・図書館、各地域図書室で毎月実施し、乳幼児期から本とふれあい、読書に関する意識の高揚、習慣付けを促進しました。ボランティアの活動が活発な地域図書室では、毎週通ってくれる親子もいます。また、クリスマス会はどこの会場も盛況でした。

③ 学校における「読み聞かせ」の支援や学校への団体貸出など、学校との連携を充実します。

評価 B

読み聞かせは計画年度の前半は行っていました。授業や修学旅行の際の参考図書を貸し出しています。

④ 保健センターにおける育児相談時に、実施している就学前の子どもを対象とした「読み聞かせ」では、子どもたちの発達に応じた選書に力を入れます。

また、保護者が子育てを楽しめるような、絵本を選書・紹介していきます。

0歳児でも図書館を利用でき、絵本が親子のコミュニケーションのツールになることを啓発していきます。

評価 B

保健センターの育児相談時に、絵本を持参し、読み聞かせを行っています。保健センターに持っていく本は、年齢を考慮して選書しています。おはなしの会のチラシ、図書館利用案内を持参し、利用を呼びかけています。

選書時にも0歳児対象の図書を購入しています。

⑤ 保健センターで図書館を紹介するツールの随時見直しと効果的な配布方法を検討します。

評価 C

利用案内とブックスタート(赤ちゃんが初めて読む絵本)のパンフレットを配布しています。効果的な配布方法の検討を行い、内容の見直しも行ないました。

⑥ 春の「子ども読書週間」と秋の「読書週間」に、小学生・中学生向けの良書案内を新しく出た本を中心に行い、選書を充実させます。

評価 A

春と秋の良書案内以外に夏の推薦と課題図書を案内しています。

良書案内については、新刊だと学校未所蔵の場合があるので、刊行してしばらく経っている本も選ぶようにしました。

③ 学校における「読み聞かせ」の支援や学校への団体貸出など、学校との連携を充実させます。

評価 A

・大人数での読み聞かせに使える大型絵本やパネルシアターの蔵書を充実させました。また、授業や学校行事に必要な資料は、積極的に収集しています。平成31年4月からは、学校からのリクエストをホームページから申し込むことができるようになりました。

④ 保健センターにおける育児相談時に実施している就学前の子どもを対象とした「読み聞かせ」では、子どもたちの発達に応じた選書に力を入れます。

また、保護者が子育てを楽しめるような、絵本を選書・紹介していきます。

0歳児でも図書館を利用でき、絵本が親子のコミュニケーションのツールになることを啓発していきます。

評価 B

・保健センターの育児相談時に、絵本を持参し、読み聞かせを行っています。保健センターに持っていく本は、年齢を考慮して選書しています。乳児向けの本のリストや、図書館利用案内を持参し、利用を呼びかけています。

⑤ 保健センターで図書館を紹介するツールの随時見直しと効果的な配布方法を検討します。

評価 B

・乳幼児とその親を対象とした読書手帳「本の思い出」を配布しました。

⑥ 春の「子どもの読書週間」と秋の「読書週間」に、ホームページも活用しながら小学生・中学生向けの良書案内を行ない、選書を充実させます。

評価 A

・春と秋に良書案内を作成し、配布しています。掲載する本については、新刊から長く読み継がれているものまで、幅広い選書を心がけています。

⑦ ヤングアダルト(おおむね小学校高学年から高校生)向けの蔵書を積極的に収集し、子どもたちへ読書の楽しさを啓発します。

評価 B

選書時に配慮しています。長岡コミュニティセンター図書室に特設コーナーを設けています。

⑧ 読書講演会のほか、子どもの読書に係わる大人向けの事業の企画を行います。

評価 C

読書講演会を年2回開催しています。その他に、無料頒布、おすすめコーナーの設置等を行っています。

⑨ 調べ学習について、資料の充実とともに、職員が調べ学習の方法を研究し、より多くの子どもたちの疑問が解消できるように努めます。

評価 C

調べ学習の支援はしていますが、研究までは至っていません。

⑩ 「読み聞かせ」と「本の団体貸出」以外の学校図書室との連携について検討します。

評価 C

読み聞かせ、団体貸出以外にも良書案内、推薦図書案内などを行っています。五小を訪問し、「わたしたちの図書館改造提案」などの説明を受け、取り組み状況について理解できました。

⑪ 図書館の利用をさらに促進するため、子ども・保護者に対する広報活動を充実していきます。

評価 B

広報みずほに図書館専用コーナー「図書館へ行こう」のコーナーが設けられています。
瑞穂ケーブルテレビやFM茶笛などに取材を依頼し、積極的に広報しました。
図書館ホームページや町から配信されるメール、町施設などへのポスターの掲示などにより、図書館事業を広報しています。

⑦ ヤングアダルト(おおむね小学校高学年から高校生)向けの蔵書を積極的に収集し、子どもたちへ読書の楽しさを啓発します。

評価 B

・小学校高学年から楽しめるような文庫を積極的に購入しています。また長岡コミュニティセンター図書室に特設コーナーを設けています。

⑧ 読書講演会のほか、子どもの読書に係わる大人向けの事業の企画を行いません。

評価 C

・読書講演会を年2回開催しています。その他に、無料配布、おすすめコーナーの充実や、企業と連携した企画も行って。

⑨ 調べ学習について、資料の充実とともに、職員が調べ学習の方法を研究し、より多くの子どもたちの疑問が解消できるように努めます。

評価 B

・調べる学習の研修を受講し、選書だけでなく、調べ方やまとめる方法についても研究しました。

⑩ 図書館の利用をさらに促進するため、子ども・保護者に対する広報及び相談活動を充実していきます。

評価 B

・広報みずほの図書館専用コーナー「図書館へ行こう」で、図書館・各地域図書室を紹介しました。またマスコミを積極的に活用し、新聞等の掲載記事を読んだ方の来館につながりました。図書館ホームページや町から配信されるメール、町施設などへのポスターの掲示などにより、図書館事業を広報しています。

⑫障がいのある子どもたちの読書を支援するために、学校の特別支援学級への読み聞かせの実施と今後のサービスについて各機関と調整します。

評価 E

障がい者サービスの研修に参加しました。図書館に障がいのある子どもたちのための大活字本や点字絵本等を整備します。

⑬ 子ども向けホームページの作成について検討します。

評価 D

図書館システムを更新し、新しいホームページができたので、今後検討していきます。

⑭ 中学生の職場体験など、子どもが図書館を見学、体験する機会をさらに拡充していきます。

評価 A

中学生のボランティア部や職場体験及び図書館・地域図書室の見学を積極的に受け入れました。見学は、元狭山ふるさと思い出館・長岡コミュニティセンター図書室などで実施しています。

⑮ 地域の読書活動に関わる情報拠点としての機能を充実していきます。

評価 B

平成24年から、読書講演会やお薦めコーナー等の情報を、メール配信等の情報発信手法を取り入れています。

⑪ 障がいのある子どもに対するサービスとして、点字資料、さわる絵本、大活字本、CD、手話や字幕入りのDVDを整備します。

評価 D

・障がい者サービスの研修に参加し、他市の障がい者サービスの事例研究を行いました。

⑫ 子ども向けホームページの作成に向けて研究します。

評価 B

・令和元年度に図書館システムを更新し、子どもに興味を持ってもらえるようなページ構成にしました。また大規模改修のあわせて、サービスの拡充に努めます。

⑬ 職場体験やボランティアなど、子どもが図書館を見学、体験する機会をさらに拡充していきます。

評価 A

・中学生のボランティア部や職場体験及び図書館・地域図書室の見学を積極的に受け入れました。夏ボラでは高校生のボランティアも受け入れました。

⑭ 地域の読書活動に関わる情報拠点としての機能を充実していきます。

評価 B

・図書館のホームページだけでなく、町のホームページやメール配信も利用しながら読書講演会や様々なイベント情報を発信しています。

⑮ 読書への意欲を高め、読書に親しめる方策として、読書手帳を活用します。

評価 C

・子ども向け、大人向けの読書手帳を配布しています。

⑯ 図書館のリサイクル図書の再活用は、保育園、幼稚園、小・中学校等を優先して行ないません。

評価 A

・リサイクル図書を一般に無料配布する前に、保育園、幼稚園、小・中学校やボランティア団体に

優先して配布しています。

⑰ 図書館のお薦めコーナーを充実させ、読書喚起します。

評価 A

- ・原則として月に1~2回おすすめコーナーの展示替えをし、子ども向け、大人向けを取り混ぜた様々な本を展示し、興味を持ってもらえる工夫をしています。

⑱ 子どもの利用を促進するためのスペースを確保します。

評価 A

- ・平成27年9月にキッズコーナーを整備し、乳幼児から中学生まで幅広い子どもに利用されています。またキッズコーナーの近くに乳幼児向けの本を配架し、親子で楽しめるような場所にしました。

⑲ 郷土資料館として使用していた3階の活用を含め、施設内の設備を再配置し、利用しやすい図書館を推進します。

評価 C

- ・3階は主に子ども向けの本の閉架書庫として利用しています。

⑳ 地域資料をデジタル化し、子どもから大人まで誰もが閲覧できる環境を提供することで、地域を愛する機運の醸成に繋がります。

評価 A

- ・町の刊行物や、写真や音声などの様々な地域資料をデジタル化し、様々な見せ方、アクセス手法を提供しました。

㉑ 外国語を母語とする子どもの読書活動を支援するため、英語資料中心に、地域の実情に合わせた外国語資料を収集します。また、地域資料のデジタル化の際に、英訳したものを掲載し、地域学習に役立つようにします。

評価 B

- ・英語資料はもちろん、多言語で対応した資料を収集し、提供しました。

上記以外に行っている取組み

- ・ 無料頒布の際に、幼稚園・保育園・小学校・中学校など子どもと関わる機関へ優先的に情報を提供しています。
- ・ 幼児、児童、生徒の閲覧用に、昔の童話などの名作の視聴覚資料を揃えています。
- ・ 子供でも簡単に蔵書を検索できるように、蔵書検索機に子ども向け表示にする機能を備えました。

4 幼稚園・保育園(10園)

- ① 保護者に対して読書への理解を深めるため、「園便り」などを通して読み聞かせの啓発に努めます。

評価 B=5 C=5

幼稚園で子ども達へ絵本の読み聞かせを行っていることを、園だよりや保護者会で、その重要性を伝えています。
図書だよりを刊行しています。
クラスだよりや地域に向けての広報誌等で、子どもたちの興味のある絵本を紹介しています。
園内には約1,000冊の絵本や保護者向けの本を用意し、貸し出しを行っています。また、園便りや保護者会を通して、読み聞かせの大切さを伝えたり、おすすめの絵本を紹介し(展示したり)、ポスターの掲示も実施しています。
時々ですが、クラスだより、保護者会などで子ども達の好きな絵本を紹介しています。

② 令和2年の東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえ、子どもがオリンピックの歴史や意義等に興味・関心を持ち、知識を得られるように配慮して選書を行ないます。

評価 C

- ・ オリンピック・パラリンピック関連の資料を収集しました。また、各種競技や世界各国のことが調べられる資料も収集しました。

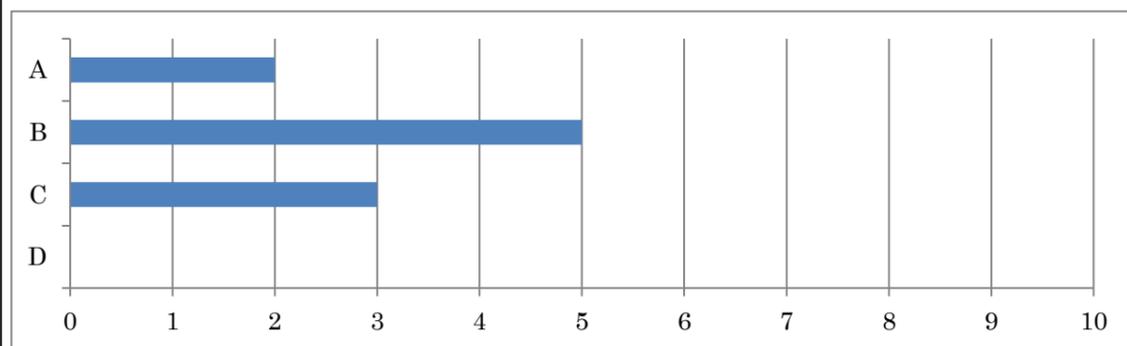
上記以外に行っている取組み

- ・ 幼児、児童、生徒の閲覧用に、昔の童話などの名作の視聴覚資料を揃えています。
- ・ 子供でも簡単に蔵書を検索できるように、蔵書検索機に子ども向け表示にする機能を備えました。
- ・ 図書館にローカウンターを設置し、小さな子どもでも使いやすくしました。

3 幼稚園・保育園(10園)

- ① 保護者に対して読書への理解を深めるため、「園便り」などを通して読み聞かせの啓発に努めます。

評価 A=2 B=5 C=3



具体的な取組内容

- ・ 園から絵本を持ち帰り、親子で読んでもらっています。
- ・ 園だよりや保護者会で、園での読み聞かせ内容や子どもたちの様子、読書の大切さを伝えています。
- ・ 地域に向けての広報誌や懇談会で読書のすすめや発達に即した絵本の紹介をしています。

貸し出し文庫を開設しており、保護者の方、園児が自由に利用できるため、利用を促したり、4～10月の延べ人数(貸し出し利用の)状況を知らせて、保護者の方へ関心をもって頂くようにしています。

- ・月刊誌「こどものとも」を各クラス(0～5才児クラス 年令ごとに冊子を変えて)で毎月回覧し、保護者と共に読んでもらうよう啓発している。
- ・保護者向けに「母の友」も毎月回覧している。園だより・地域向けリーフレット等での啓発は、毎年欠かさず行っている。
- ・園文庫を設置し、毎日貸し出ししている。親子で本を選び、毎日10冊以上の貸し出しがある。(園児数65)

② 図書館のリサイクル図書の有効活用を積極的に行い、読書環境の整備に努めます。

評価 A=1 B=1 C=4 D=3 E=1

幼稚園としての図書館の利用があまり無かったので、これから取り入れていきたいと思います。

リサイクル図書をいただき園文庫として活用しています。

毎年沢山の絵本を頂き、感謝しています。絵本は毎日見ているので、痛みも早く、リサイクル図書を頂くことで、新しい内容に興味をもって見たり読むことを楽しんでいます。各クラスはもちろんのこと、子どもたちが集まるホールでも、入れ替えをしながら、読書環境を整えるようにしています。

現在、園内の本箱(図書館もクラスも)がいっぱいなので、積極的な参加はしませんでした。

不定期に園でも購入しています。

毎年リサイクル図書を頂いて保育現場で活用させて頂いています。

図書館より譲り渡し図書のお知らせを頂きましたが、今年度は日にちの都合が合わず、行く事ができなく残念でした。(以前は頂いた事あります。)

予算に応じ新刊を増冊しています。

平成23年度は、リサイクル図書をいただきました。

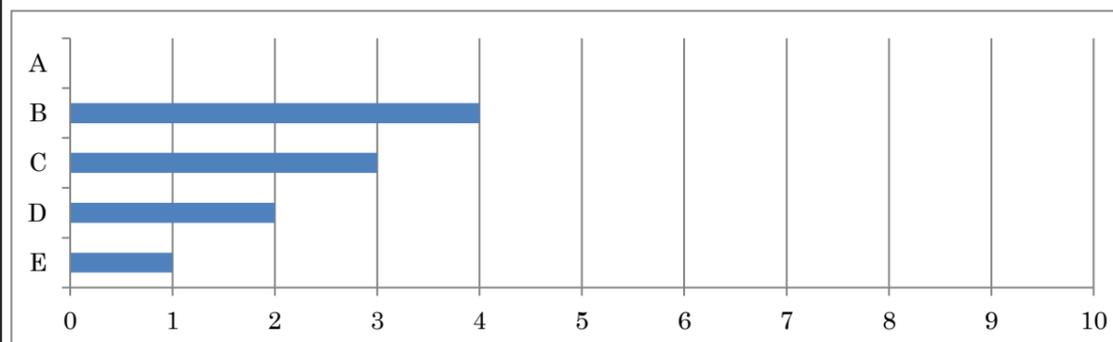
③ 図書館からの「幼児向け良書案内」を活用するなど、図書館と連携を充実していきます。

評価 B=3 C=2 D=3 E=2

・読み聞かせの効果を掲示したり、図書館便りを作成しました。

② 図書館のリサイクル図書の有効活用を積極的に行い、読書環境の整備に努めます。

評価 A=0 B=4 C=3 D=2 E=1



具体的な取組内容

- ・子どもたちが自由に読める読書コーナーを設置しています。
- ・定期的に図書の整備を行い、利用しています。
- ・リサイクル図書を有効活用しています。

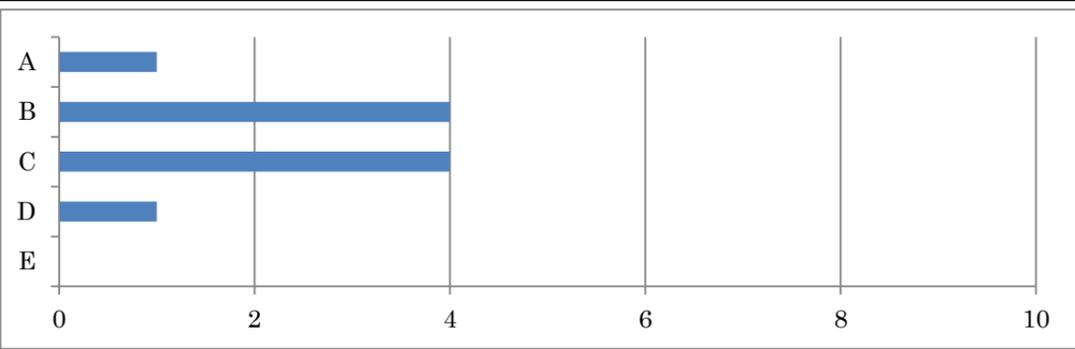
③ 図書館からの「幼児向け良書案内」を活用するなど、図書館と連携を充実していきます。

評価 A=1 B=4 C=4 D=1

幼稚園としての図書館の利用があまり無かったので、これから取り入れていきたいと思います。
図書案内などは園入り口に掲示しています。
次年度、参考にさせて頂きたいと思います。
「良書案内」を頂いた時には、図書館前に掲示し、同様の本を見やすい場所に並べ紹介している。(園にある本は印をつけアピールをしている。)
コミュニティセンターの図書館に職員と園児が出向き、月に何度も図書を借用し保育現場で活用させて頂いています。
広報みずほ「図書館へ行こう」等を園内職員で参考にしています。 パンフレットなど掲示板に貼り出し知らせています。
良書案内は、いただいた時は必ず保護者の目につく所へ掲示しています。

上記以外に行っている取組み

<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせを毎日クラスで行っています。 ・子どもの疑問を本で調べさせています。
<p>園文庫の拡充。</p> <p>毎週、園児への貸し出しを行っている。</p> <p>クラス文庫を年齢別に設置、季節ごとに入れ替えを行っています。</p> <p>毎日、読み聞かせの時間を持っています。</p> <p>絵本を題材にした活動を勧めています。</p> <p>家庭文庫を持つことを勧めています。(月ごとによい絵本をあげています。)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自由あそびの中で好きな絵本とじっくりふれあえるようにコーナーを整備しています。 ・一日の中で給食やおやつ、午睡前など、場面の切りかえに絵本の読み聞かせを行っています。 ・子どもたちの年齢や興味に合わせた内容の絵本を選定することで、イメージをふくらませたり、興味をもって絵本をみようとする意欲を育てています。
保育の中でも絵本の読み聞かせを多く取り入れています。
園では週1回、貸し出しの絵本コーナーを設けています。



具体的な取組内容

- ・図書館からの案内を周知したり、利用を勧めています。今後も連携を深めていきたいと思ます。
- ・図書館の絵本や紙芝居などの貸出を利用しています。
- ・良書案内を掲示して保護者に見ていただいたり、絵本を購入する際の参考にしています。

上記以外に行っている取組み

- ・各クラスに本棚を設置し、自由に読めるようにしています。
- ・定期的に絵本を入れ替え、様々な本に触れられるようにしています。
- ・毎日読み聞かせの時間を設けています。
- ・読み聞かせや選書についての研修を行っています。
- ・読み聞かせ推進事業を活用しています。
- ・園日よりでおすすめの絵本を紹介しています。
- ・園の絵本を貸出しています。
- ・貸出絵本のコーナーで毎月担当者のおすすめの本を紹介しています。
- ・子どもの大好きな絵本をクラス便りに載せています。
- ・新刊の絵本を掲示で紹介しています。
- ・購入した月刊絵本を回覧しています。
- ・課業の時間を設け、文学の日は言葉遊びやかかるた、読み聞かせ等に取り組んでいます。

毎週、好評を頂き、「夜、寝る前に読んでもらったよ。」とうれしそうに子ども達も話してくれます。

以前、保育園で購入した本を保護者や園児に貸し出していた。

園内貸し出し文庫開設あり。保護者の方が子どもに家庭で絵本を読み聞かせる事でコミュニケーション(親子のふれ合い)がもてるように、また、絵本に興味をもてるようにしています。

各クラスにも絵本があり自分が読みたい時、見たい時にすぐにふれ合えるようにしており、昆虫、草花等の事を自分達で調べられるようにしています。

・保育の中で絵本は重要な位置を占めており、園に購入する図書は評価の定まったものを厳選しています。(開園3年目なので蔵書はまだ600冊弱だが、今後計画的に増やしていきたい。)

・いわゆるブックスタートの時期(0才児)を大切にし、保育士が各発達段階に応じて読み聞かせができるように、園内研修等でも読書の重要性を研修しています。

・保護者に対して絵本の選び方や、読書の価値などの啓発を欠かさぬようにし(園だより・保護者会)、地域子育て家庭対象には「絵本の選び方」の講座を実施しました。

5 児童館・学童クラブ

① 幼児と保護者向けの事業を引き続き行う中で、読み聞かせを充実させます。

評価 B

幼児事業において絵本等を活用し、読み聞かせを実施しています。

② 図書館のリサイクル図書の活用を積極的に行ないます。

評価 B

児童館、各学童クラブの子ども達の好みや興味を持つような図書を選び、配布しています。

③ ボランティアによる「おはなしの会」を充実させます。

評価 A

4 児童館・学童クラブ

① 幼児と保護者向けの事業を引き続き行う中で、読み聞かせを充実させます。

評価 A

・幼児事業において、プログラムの中に読み聞かせを取り入れています。また保護者へ絵本の情報提供をしています。

② 図書館のリサイクル図書の活用を積極的に行ないます。

評価 D

・リサイクル図書は活用していますが、定期的な入替えはできませんでした。また寄贈や購入により本の充実を図っています。

上記以外に行っている取組み

・乳幼児には月刊誌を定期購読し、指導員が読み聞かせを行ってから提供しています。

<p>毎月1回ボランティアによる読み聞かせを事業として実施しています。</p> <p>6 保健センター</p> <p>① 子どもの育児相談や両親学級などで、読書活動の重要性や楽しさを保護者に伝え、乳幼児から本に親しむ機会を創出するよう啓発します。</p> <p>評価 A</p> <p>平成22年度から兵士恵25年度まで、両親学級育児科「お誕生教室」で保育士による絵本の読み聞かせを実施し、平成26年度からはボランティアによるパネルシアター方式で実施しています。</p> <p>② 父親向けの講座では、「絵本の読み聞かせ」の講義実演を通し、将来親子で読書を楽しめるよう啓発します。</p> <p>評価 C</p> <p>平成22年度～平成24年度まで、両親学級で保育士による絵本の読み聞かせ講座を実施しました。平成25年度以降はプログラムの変更に伴い終了しました。</p> <p>③ 乳児(3～4か月)健診時に来所したすべての乳児を対象に絵本を配布するなど、ブックスタート事業を推進します。</p> <p>評価 A</p> <p>3～4か月児健診時にブックスタート事業として、1人当たり2冊の絵本を配布しています。同時に独自作成のパンフレットも配布し、図書館についても周知しています。</p> <p>④ 図書館と連携して、図書コーナーに団体貸出の本を備え、母子健康手帳バックに読書の案内のチラシや、健康・育児・栄養相談時に、図書館職員が読み聞かせを行うなどの事業を実施していきます。</p> <p>評価 B</p> <p>平成22年度～平成24年度、母子健康手帳バックに読書案内のチラシを入れて配布した。平成25年度からは、読書の案内チラシを独自作成のパンフレットにグレードアップし、3～4か月児健診で配布しています。</p>	<p>・児童には指導員が新刊や季節に合った本を紹介したり、読み聞かせをしています。</p> <p>5 保健センター</p> <p>① 乳児(3～4か月)健診時に来所したすべての乳児を対象に絵本を配布し、読み聞かせのデモンストラーションを実施するなど、ブックスタート事業を推進します。</p> <p>評価 B</p> <p>・3～4か月児健診時の会場でボランティアに読み聞かせをしてもらったあと、健診終了後に絵本を配布しています。ブックスタートの意義については、十分に説明できていない状況です。</p> <p>④ 図書館と連携して、リサイクル図書を活用し本を備え、ブックスタートのパンフレットを配布したり、健康・育児・栄養相談時に、図書館職員が読み聞かせを行うなどの事業を実施していきます。</p> <p>評価 A</p> <p>・毎月最終回の育児相談に図書館職員に来てもらい、絵本の読み聞かせを行っています。</p> <p>・保健センターの待合室に図書を備え、待ち時間に自由に読めるようにしています。</p>
---	--

毎月1回の健康・育児・栄養相談時に、図書館職員による絵本の読み聞かせを実施しています。

7 子ども家庭支援センターひばり

- ① 指導員やボランティアによる読み聞かせ事業を充実していきます。

評価 B

毎月第3木曜日に「おはなしはじまるよ」を実施し、乳幼児とその保護者向けに読み聞かせを実施しています。

- ② 図書コーナーを充実させるため、図書館のリサイクル本の活用や、団体貸出の利用を積極的に行います。

評価 C

図書館のリサイクル本を譲り受け図書コーナーに置いています。

- ③ 社会教育課による「青少年ボランティアによる乳幼児向けのお話し会」を充実させます。

評価 B

ジュニアリーダー(小学5年生から高校3年生を対象にした養成講座(キャンプ等)を受講した子ども)による乳幼児向けのお話し会「パパ・ママといっしょに絵本で遊ぼう」を年2回実施しています。

- ④ 社会教育課による子どものボランティア活動を推進し、乳幼児を対象とした小学生ボランティアによる読み聞かせ事業の育成と拡充を図ります。

評価 B

ジュニアリーダーによる乳幼児向けのお話し会「パパ・ママといっしょに絵本で遊ぼう」を年2回実施しています。

8 地域における子育てサークル(2団体)

- ① 子どもたちの興味をお話に向けさせるように読み聞かせを積極的に取り入れた活動をします。

6 子ども家庭支援センターひばり

- ① 指導員やボランティアによる読み聞かせ事業を充実していきます。

評価 B

- ・年に11回「おはなし はじまるよ」を実施しました。
- ・子育て講座「心にほっこり絵本の読み聞かせ」を実施しました。
- ・「ジュニアリーダー読み聞かせ」を社会教育課主催で実施しました。

- ② 図書館のリサイクル図書を活用し、図書コーナーを充実させます。

評価 A

- ・平成30年度に新たな取組として子育て講座当日に来館者向けにリサイクル図書の配布を行ったところ、好評でした。

7 地域

- ① 地域の育児サークルなどが行っている「読み聞かせ」などの活動への参加を促進します。

評価 A=2

活動時には必ず読み聞かせを行っています。

子どもと同じ目線に立ち季節に沿った絵本や紙芝居を毎回3~4冊読んでいます。

② 図書館から読み聞かせに良い本等の団体貸出の利用を促進します。

評価 A=1 C=1

代表が図書館に出向き、季節や行事、成長に合わせて本を借りに行っています。

●課題

子どもの読書活動推進のため、各団体で積極的な取組みが行われていますが、現段階において、評価がD及びEとなっている箇所を見ていきます。

学校

④ 保護者・ボランティア・図書館の協力を得て、「読み聞かせ」等を行います。

評価 B

- ・読み聞かせ等をしているボランティアグループへの参加促進を図っています。
- ・夏の体験ボランティア事業で読み聞かせの体験事業を行っています。

② 育児サークルやその活動内容の情報を提供します。

評価 B

- ・子育てに関するボランティアグループの活動内容について、チラシや広報紙、ホームページで情報提供しています。

③ 子どもたちの興味をお話に向けさせるように読み聞かせを積極的に取り入れた活動をします。

評価 A

- ・リズムや繰り返しを楽しめるものや、季節感、身近なテーマの読み聞かせを行っています。
- ・エプロンシアター、パネルシアター、ペープサートなど視覚に訴え、おはなしの世界を楽しんでもらえるような工夫をしています。

④ 図書館から読み聞かせに適した本等の団体貸出の利用を促進します。

評価 A

- ・たくさん利用しています。

上記以外の取組み

- ・サークルのお誕生日会の際は、対象の子どもの好きな絵本を紹介し、読み聞かせをしています。

・評価 E 1件

特別支援学級では、読み聞かせを行っています。

幼稚園・保育園

② 図書館のリサイクル図書の有効活用を積極的に行い、読書環境の整備に努めます。

・評価 D 3件

「これから利用していきたい。」「過去に利用したことはある。」といった回答がありました。

・評価 E 1件

事前頒布のお知らせを、今後も継続していきます。

事前頒布は、幼稚園・保育園にも案内しています。しかし、蔵書状況等によって、活用しない場合もあるようです。

③ 図書館からの「幼児向け良書案内」を活用するなど、図書館と連携を充実していきます。

・評価 D 3件

「これから取り入れていきたい。」「園内に掲示している。」といった回答がありました。これからも活用を呼びかけていきます。

・評価 E 2件

「今後参考にしたい。」といった回答がありました。

図書館

⑫ 障がいのある子どもたちの読書を支援するために、学校の特別支援学級への読み聞かせの実施と今後のサービスについて各機関と調整します。

・評価 D

障がい者サービスの研修に参加して、他市町村のサービスの情報収集等に努めています。図書館に、障がいのある子どもたちのための大活字本や点字絵本等も整備を進めています。

⑬ 子ども向けホームページの作成について検討します。

・評価 D

子ども達に分かりやすく、親しみやすいホームページ作成に向けて、検討していきます。